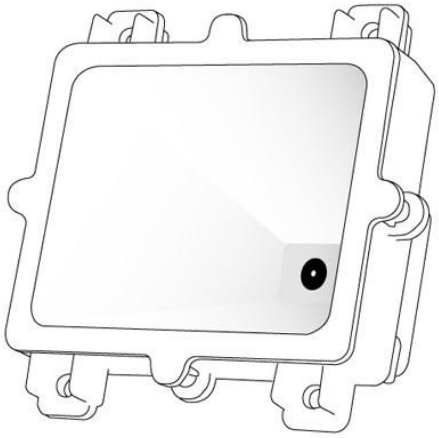
【型番】
USB　　：F830-U
RS232C：F830-R

組込み式 2 次元コードリーダー

F830



詳細設定マニュアル

Ver1.5

改定履歴

Ver	日付	改定履歴
1.0	2019/05	初版発行 FW：V1.69
	2020/10	FW：V1.71
	2022/04	FW：V1.73 QR の 2 バイト文字出力の修正
	2022/07	FW：V1.74 QR の 2 バイト文字出力で軽微な修正
1.1	2022/12	記載内容の一部修正・追記 ・「7.1 ｽｷｬﾝﾓｰﾄﾞｺﾏﾝﾄﾞ」のｺﾏﾝﾄﾞ追記
		FW：V1.76 USB-COM に関する修正
1.2	2023/12	記載内容の一部修正・追記 ・バーコード種別の設定追加 ・シリアル通信コマンドに緑 LED の設定コマンドを追記 ・FW:V1.78 の文字間遅延設定を追記
		FW：V1.78 文字間遅延設定を追加
1.3	2024/03	同一バーコード読み取り遅延設定バーコード追記
1.4	2024/07	読み取りビープ音/音量設定バーコード修正
1.5	2024/10	シリアルコマンドリスト追記
	2025/09	FW：V1.80 USB-COM に関する修正
	2025/12	FW：V1.82 設定をコマンドで行う場合、現状設定と同じであれば設定をメモリに書き込まない ※設定バーコードで設定する場合はメモリに書き込む

1.同梱品とトリガーボタンの説明 5
・1.1 同梱品. 5
・1.2 トリガーボタン. 5
2.システム設定. 6
・2.1 初期化. 6
・2.2 ファームウェアーバージョン表示. 6
・2.3 設定 QR コードの読み取り設定. 6
3.基本設定 7
・3.1 インターフェイス設定. 7
・3.2 改行コードの設定. 7
・3.3 ボーレート設定. 8
・3.4 RS232C ピンアサイン. 9
・3.5 キーボード言語の設定. 9
・3.6 起動音の有効/無効. 10
・3.7 読み取りビープ音の有効/無効. 10
・3.8 読み取りビープ音の長さ. 10
・3.9 読み取りビープ音の音調. 11
・3.10 緑 LED の設定. 11
・3.11 文字間遅延設定. 12
・3.12 同一バーコード読み取りの遅延設定. 13
4.バーコード種別の設定 14
・4.1 全バーコード読み取りの有効/無効. 14
・4.2 EAN/UPC. 15
・4.3 Code128. 16
・4.4 Code39. 16
・4.5 Code93. 17
・4.6 Code32. 17
・4.7 NW-7. 17
・4.8 Interleaved 2 of 5 (ITF). 18
・4.9 Industrial 2 of 5. 18
・4.10 Matrix 2 of 5. 18
・4.11 Code11. 19
・4.12 GS1 Databar. 19
・4.13 QR Code & Micro QR. 20
・4.14 Data Matrix. 21
・4.15 PDF417. 21
5.コード ID 設定. 22
・5.1 コード ID 送信の有効/無効. 22
・5.2 コード ID 変更. 23
・5.3 コード ID 初期値に戻す 25

6.先頭/末尾に文字を付加する （プリフィックス/サフィックス） 26

7.先頭/末尾から指定桁数を出力する 27

・7.1 すべてのデータを出力する 27

・7.2 出力する桁数を設定する 27

・7.3 データの出力箇所の設定 28

8.シリアルコマンドリスト 29

コマンド送信成功の返送ステータス 30

スキャンモード設定 30

読み取り開始コマンド 31

読み取り終了コマンド 31

読み取り待機時間の設定 31

同一バーコード読み取り遅延設定 32

読み取りビープ音と緑 LED の設定 32

すべてのバーコードの読み取り設定 33

EAN/UPC 33

Code128 34

Code39 34

Code93 34

Code32 34

NW-7 34

Interleaved 2 of 5 (ITF) 35

Industrial 2 of 5 35

Matrix 2 of 5 35

Code11 35

GS1 Databar 35

QR Code & Micro QR 35

Data Matrix 36

PDF417 36

最小/最大読み取り桁数を指定する 36

先頭/末尾から指定桁数を出力する 37

ビープ音を鳴らす 38

・16 進コード 39

・ASCII テーブル 41

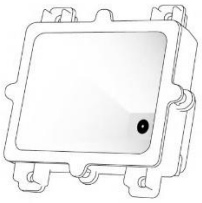
・Code39 Full ASCII バーコード 42

・サンプルバーコード 46

1. 同梱品とトリガーボタンの説明

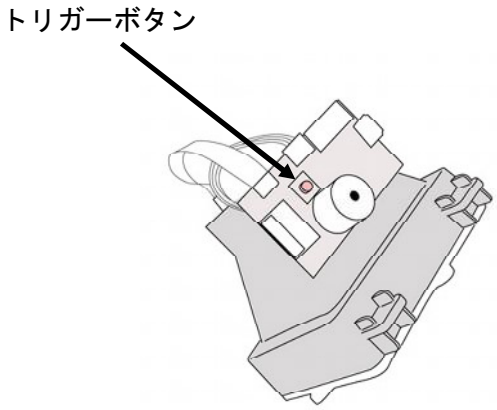
・1.1 同梱品

製品箱には以下のものが入っています。
不足や破損がございましたら弊社までご連絡下さい。

	
スキャナー本体	品質保証書付き簡易設定マニュアル

・1.2 トリガーボタン

注意：連続モード（初期値）の時に、トリガーボタンは機能しません。
　　連続モード時にトリガーボタンを押下した場合、読み取りが出来なくなります。
　　読み取りが出来なくなった場合は、電源の入れ直し(ケーブルの挿し直し)を行ってください。



トリガーモードに変更する場合は、コマンドでの設定になります。
【8.1 スキャンモードコマンド】をご確認願います。(USB-COM、RS232C)

2. システム設定

・2.1 初期化

※F830-U を初期化した場合は、インターフェイス設定も初期値（USB-HID）に戻ります。

初期化

RD9FF50.

・2.2 ファームウェアーバージョン表示

バージョン情報

0000030.

・2.3 設定 QR コードの読み取り設定

※セキュリティ上の観点から、この項目の設定バーコードはマニュアルに記載致しません。
　ご要望の場合にはお問い合わせください。

3. 基本設定

・3.1 インターフェイス設定

※USB-COM に設定する場合は、USB-COM ドライバーのインストールが必要です。
USB-COM ドライバーは、弊社ホームページからダウンロードをしてください。
PC の機種によっては、正常に動作しないことがございます。

USB-HID

0000010.

USB-COM

R0D0303.

RS232C

0000020.

・3.2 改行コードの設定

なし

R600100.

ＣＲ

R606101.

ＴＡＢ

R606141.

ＣＲ+ＬＦ

R606121.

・3.3 ボーレート設定

※F830-R(RS232C)の設定です。

1200 bps

W2AC409.

4800 bps

W2A7102.

9600 bps

W2A3901.

14400 bps

W2AD000.

19200 bps

W2A9C00.

38400 bps

W2A4E00.

57600 bps

W2A3400.

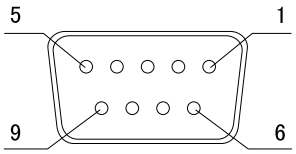
Parameters	Default
RS232 serial communication type	Standard TTL-232 Standard TTL-232
Parity Check	none
Data Bit	8
Stop Bit	1
Hardware Flow Control	none

※Hardware Flow Control（ハンドシェイク）は「none」固定です。設定変更はできません。

・3.4 RS232C ピンアサイン

DB9Female

Pin No.	Function
2	TXD
3	RXD
5	GND
9	Vcc/+5V
Power Lead	Vcc/+5V



インチネジ（#4-40）

・3.5 キーボード言語の設定

日本語

R61FF06.

英語

R61FF00.

・3.6 起動音の有効/無効

※起動音（通電した際に鳴る音）の設定です。

有効

R004040.

無効

R004000.

・3.7 読み取りビープ音の有効/無効

有効

R0E0404.

無効

R0E0400.

・3.8 読み取りビープ音の長さ

30ms

R0BFF1E.

60ms

R0BFF3C.

90ms

R0BFF5A.

120ms

R0BFF78.

・3.9 読み取りビープ音の音調

Low

R0AFF64.

Medium

R0AFF87.

High

R0AFFAF.

・3.10 緑 LED の設定

ＯＮ

R0E0101.

ＯＦＦ

R0E0100.

・3.11 文字間遅延設定

接続する機器や出力先のソフトウェアによって、データが正しく出力されない場合があります。
遅延設定をすることで改善される場合があります。

※USB-HID のみ設定有効
※ファームウェア：V1.78 より対応

Default

20ms

30ms

40ms

50ms

・3.12 同一バーコード読み取りの遅延設定

同じデータのバーコードを読み取る間隔を設定できます。
※スキャンモード：“連続モード” でのみ、設定可能です。

設定の有効/無効

有効

R138080.

無効

R138000.

遅延の時間設定

500ms

R137F05.

1sec

R137F0A.

2sec

R137F14.

3sec

R137F1E.

5sec

R137F32.

10sec

R137F64.

4. バーコード種別の設定

・4.1 全バーコード読み取りの有効/無効

全コード読み取り有効

R2C0602.

全コード読み取り無効

R2C0600.

※Code32 は「無効」のままです。(Code39 として出力します。)
Code32 の読み取りを「有効」にする場合は、【4.6 Code32】で設定してください。

読み取り有効/無効を工場出荷時の状態に戻す

R2C0604.

・4.2　EAN/UPC

有効

R2E0101.

無効

R2E0100.

アドオン 2/5

有効

R2E0202.

無効

R2E0200.

UPC-A を EAN-13 に変換

有効

無効

・4.3　Code128

※チェックデジットが付加されていない Code128 の読み取りは出来ません。
※最小読み取り桁数：1 桁（C/D 含まず）

有効

R330101.

無効

R330100.

・4.4　Code39

※最小読み取り桁数：1 桁（スタート/ストップコード含まず）
注意：データに「*」が入っている Code39 は、正しくデータを出力しません。

有効

R360101.

無効

R360100.

Full ASCII Code39 有効

R360808.

Full ASCII Code39 無効

R360800.

スタートストップ送信有効

スタートストップ送信無効

・4.5　Code93

※チェックデジットが付加されていない Code93 の読み取りは出来ません。
※最小読み取り桁数：1 桁（C/D 含まず）

有効

R390101.

無効

R390100.

・4.6　Code32

※「無効」の場合は、Code39 として読み取りします。

有効

R5E0101.

無効

R5E0100.

・4.7　NW-7

※最小読み取り桁数：1 桁（スタート/ストップコード含まず）

有効

R3C0101.

無効

R3C0100.

スタートストップ送信有効

スタートストップ送信無効

・4.8　Interleaved 2 of 5 (ITF)

※最小読み取り桁数：6 桁　（2 桁、4 桁の ITF の読み取りは出来ません。）

有効

R400101.

無効

R400100.

・4.9　Industrial 2 of 5

※最小読み取り桁数：3 桁

有効

R5B0101.

無効

R5B0100.

・4.10　Matrix 2 of 5

※最小読み取り桁数：3 桁

有効

R460101.

無効

R460100.

・4.11　Code11

※最小読み取り桁数：1 桁

有効

R490101.

無効

R490100.

・4.12　GS1 Databar

※合成シンボル（CC-A, CC-B, CC-C）の読み取りはできません。

有効

R5F0101.

無効

R5F0100.

・4.13　QR Code & Micro QR

※最小読み取り桁数：1 桁

有効

R3F0101.

無効

R3F0100.

文字コードの設定

ひらがなや漢字などの 2 バイト文字の出力で使用する設定です。

※QR コードのエンコード、出力先のアプリケーション、上記設定が異なっている場合は
　文字化けします。

例）シフト JIS でエンコードした QR コードを Microsoft Word に出力した場合、文字化けします。

シフト JIS

R0D0C00.

UTF-8

R0D0C04.

・4.14　Data Matrix

※最小読み取り桁数：1 桁

有効

R540101.

無効

R540100.

・4.15　PDF417

※Micro PDF417 の読み取りはできません。
※最小読み取り桁数：1 桁

有効

R550101.

無効

R550100.

5. コード ID 設定

・5.1 コード ID 送信の有効/無効

有効

R600404.

無効

R600400.

コード ID 初期値

バーコード種	コードＩＤ	バーコード種	コードＩＤ
JAN-13	d	Matrix 2 of 5	v
JAN-8	d	Code11	C
UPC-A	c	Code32	B
UPC-E (0)	c	GS1 Databar	R
UPC-E (1)	c	GS1 Databar Limited	R
Code128	j	GS1 Databar Expanded	R
Code39	b	QR Code	Q
Code93	i	Micro QR	Q
NW-7	a	Data Matrix	u
Interleaved 2 of5 (ITF)	e	PDF 417	r
Industrial 2 of 5	S		

・5.2 コード ID 変更

手順：コード種毎の「開始」→「16 進コード」→「保存」の順にスキャンします。

JAN-13 開始

C910000.

JAN-8 開始

C920000.

UPC-A 開始

C930000.

UPC-E(0) 開始

C940000.

UPC-E(1) 開始

C950000.

Code128 開始

C960000.

Code39 開始

C970000.

Code93 開始

C980000.

Code32 開始

CAD0000.

保存

S0000FF.

キャンセル

S000000.

NW-7 開始

C990000.

ITF 開始

C9A0000.

Industrial 2 of 5 開始

C9B0000.

Matrix 2 of 5 開始

C9C0000.

Code11 開始

C9D0000.

MSI 開始

C9E0000.

GS1 Data Bar 開始

C9F0000.

保存

S0000FF.

キャンセル

S000000.

QR Code & Micro QR 開始

CA20000.

Data Matrix 開始

CA30000.

PDF417 開始

CA40000.

保存

S0000FF.

キャンセル

S000000.

・5.3 コード ID 初期値に戻す

コード ID 初期値

W910000.

6. 先頭/末尾に文字を付加する　（プリフィックス/サフィックス）

※最大先頭/末尾それぞれ 15 文字まで設定可能です。

①付加する文字設定開始（先頭か末尾かどちらかを選択）

先頭	末尾
C630000.	C720000.

②付加する文字を ASCII コードテーブルで確認し、16 進コードをスキャンします。

例）ABC を付加する場合
「4」→「1」→「4」→「2」→「4」→「3」の順にスキャンします。

③設定保存

保存

S0000FF.

④設定した文字を付加する/付加しないを選択（どちらか 1 つを選択）

先頭 付加する	先頭 付加しない
R600808.	R600800.

末尾 付加する	末尾 付加しない
R600202.	R600200.

7. 先頭/末尾から指定桁数を出力する

※すべてのバーコード種に適用されます。
　バーコード種別ごとに設定することはできません。

・7.1 すべてのデータを出力する

すべてのデータを出力

RB00300.

・7.2 出力する桁数を設定する

■先頭データの桁数を設定する

「1」～「3」の順番で設定を進めてください。

1	2	3
先頭データ桁数設定 CB10000.	「16 進バーコード（P. 39～40）」をスキャン（16 進数で設定） （例）5 桁の場合 ⇒ 「0」「5」 10 桁の場合 ⇒ 「0」「A」	保存 S0000FF.

■末尾データの桁数を設定する

「1」～「3」の順番で設定を進めてください。

1	2	3
末尾データ桁数設定 CB20000.	「16 進バーコード（P. 39～40）」をスキャン（16 進数で設定） （例）5 桁の場合 ⇒ 「0」「5」 10 桁の場合 ⇒ 「0」「A」	保存 S0000FF.

・7.3 データの出力箇所の設定

設定別の出力例

データ 「4912345678904」 先頭データ桁数の設定：3 桁 末尾データ桁数の設定：4 桁	先頭データを出力 ⇒ 491
	中間データを出力 ⇒ 234567
	末尾データを出力 ⇒ 8904

■先頭データを出力する

先頭データのみ出力

■中間データを出力する

中間データのみ出力

■末尾データを出力する

末尾データのみ出力

8. シリアルコマンドリスト

F830-U(USB-COM)、F830-R では、コマンドをシリアル経由で送信することにより
一部設定の変更やスキャン動作を行うことができます。

※初期値には ＊ がついています。

※フラッシュメモリの書き換え回数制限により、コマンドの実行回数は最大 10 万回までです。
ただし、下記の「読み取り開始」「読み取り終了」のコマンドはフラッシュメモリの書き換えに
影響がありませんのでこの限りではありません。

※返送ステータスが返ってきてから次のコマンドを送信してください。

※設定をフラッシュメモリへ記憶するため、コマンドを送信して返送ステータスが返ってくるまでは
電源を切断しないでください。誤動作の原因になることがあります。

・読取開始コマンド

※スキャンモード：“トリガーモード” でのみ使用可能です。
※コマンド送信が成功すれば「02 00 00 01 00 33 31」が返送されます

16 進数　16 54 0D

・読取終了コマンド

※スキャンモード：“トリガーモード” でのみ使用可能です。
※コマンド送信が成功すれば「02 00 00 01 00 33 31」が返送されます

16 進数　7E 00 0A 01 00 02 01 AB CD

・ファームウェア確認コマンド

※スキャンモード：“トリガーモード” でのみ使用可能です。
※ファームウェアの数値が返送されてきます。

16 進数　7E 00 09 FF 00 D9 06 AB CD

コマンド送信成功の返送ステータス

正しくコマンドが送信されたとき、スキャナー側から返送ステータスが返ってきます。

返送ステータス

OK の場合	16 進数	02 00 00 01 00 33 31
NG の場合	None	

スキャンモード設定

※仕様上、スキャンモード設定と起動音の設定が連動しております。

トリガーモード

起動音：ON	16 進数	7E 00 08 01 00 00 C1 AB CD
起動音：OFF	16 進数	7E 00 08 01 00 00 81 AB CD

連続モード

＊ 起動音：ON	16 進数	7E 00 08 01 00 00 C2 AB CD
起動音：OFF	16 進数	7E 00 08 01 00 00 82 AB CD

読み取り開始コマンド

※スキャンモード：トリガーモードでのみ使用可能です。

16 進数	16 54 0D

読み取り終了コマンド

※スキャンモード：トリガーモードでのみ使用可能です。

16 進数	7E 00 0A 01 00 02 01 AB CD

読み取り待機時間の設定

※スキャンモード：トリガーモードでのみ使用可能です。
※初期値：４秒

読み取り開始コマンド送信後、読み取り可能な状態でいる時間の設定コマンドです。
n=00（0 秒）にすると、待機時間＝Infinity（バーコードの読み取り or 読取終了コマンドを送信するまで読み取り可能状態）になります。

16 進数	7E 00 08 01 00 06 n AB CD

n=0x00～FF（0～25.5 秒）

算出方法
n=設定時間(秒)×10 を 16 進数に変換

設定例

読み取り待機状態時間	設定値
0 秒（∞）	00
＊4 秒	28
10 秒	64
15 秒	96
20 秒	C8
25 秒	FA

同一バーコード読み取り遅延設定

※スキャンモード：連続モードでのみ設定可能です。
※初期値：0.7 秒

16 進数	7E 00 08 01 00 13 n AB CD

n=0x00～FF（0～12.7 秒）

算出方法
n=0x80 + a
a=設定時間(秒)×10 を 16 進数に変換

設定例

遅延時間	設定値
0.5 秒	85
＊ 0.7 秒	87
2 秒	94
3 秒	9E
5 秒	B2
10 秒	E4
12.7 秒	FF

読み取りビープ音と緑 LED の設定

※仕様上、読み取りビープ音設定と緑 LED の設定が連動しております。

読み取りビープ音：ON	＊ 緑 LED：ON	16 進数	7E 00 08 01 00 0E 05 AB CD
	緑 LED：OFF	16 進数	7E 00 08 01 00 0E 04 AB CD
読み取りビープ音：OFF	緑 LED：ON	16 進数	7E 00 08 01 00 0E 01 AB CD
	緑 LED：OFF	16 進数	7E 00 08 01 00 0E 00 AB CD

すべてのバーコードの読み取り設定

すべてのバーコードの読み取り

有効	16 進数	7E 00 08 01 00 2C 03 AB CD
無効	16 進数	7E 00 08 01 00 2C 01 AB CD
＊ デフォルトの 読み取り可否設定	16 進数	7E 00 08 01 00 2C 05 AB CD

EAN/UPC

読み取り設定

＊ 有効	16 進数	7E 00 08 01 00 2E 01 AB CD
無効	16 進数	7E 00 08 01 00 2E 00 AB CD

２桁/５桁アドオン

有効	16 進数	7E 00 08 01 00 2E 03 AB CD
＊ 無効	16 進数	7E 00 08 01 00 2E 01 AB CD

UPC-A を EAN-13 に変換

有効	16 進数	7E 00 08 01 00 30 02 AB CD
＊ 無効	16 進数	7E 00 08 01 00 30 01 AB CD

UPC-E を UPC-A に変換

有効	16 進数	7E 00 08 01 00 31 05 AB CD
＊ 無効	16 進数	7E 00 08 01 00 31 01 AB CD

UPC-E を JAN-13 に変換

有効	16 進数	7E 00 08 01 00 31 03 AB CD
＊ 無効	16 進数	7E 00 08 01 00 31 01 AB CD

Code128

読み取り設定

＊ 有効	16 進数	7E 00 08 01 00 33 01 AB CD
無効	16 進数	7E 00 08 01 00 33 00 AB CD

Code39

読み取り設定

有効	スタートストップ送信する	16 進数	7E 00 08 01 00 36 01 AB CD
	＊ スタートストップ送信しない	16 進数	7E 00 08 01 00 36 03 AB CD
無効		16 進数	7E 00 08 01 00 36 00 AB CD

Code93

読み取り設定

有効	16 進数	7E 00 08 01 00 39 01 AB CD
＊ 無効	16 進数	7E 00 08 01 00 39 00 AB CD

Code32

読み取り設定

有効	16 進数	7E 00 08 01 00 5E 01 AB CD
＊ 無効	16 進数	7E 00 08 01 00 5E 00 AB CD

NW-7

読み取り設定

有効	＊ スタートストップ送信する	16 進数	7E 00 08 01 00 3C 03 AB CD
	スタートストップ送信しない	16 進数	7E 00 08 01 00 3C 01 AB CD
無効		16 進数	7E 00 08 01 00 3C 00 AB CD

Interleaved 2 of 5 (ITF)

読み取り設定

＊ 有効	16 進数	7E 00 08 01 00 40 01 AB CD
無効	16 進数	7E 00 08 01 00 40 00 AB CD

Industrial 2 of 5

読み取り設定

有効	16 進数	7E 00 08 01 00 43 01 AB CD
＊ 無効	16 進数	7E 00 08 01 00 43 00 AB CD

Matrix 2 of 5

読み取り設定

有効	16 進数	7E 00 08 01 00 46 01 AB CD
＊ 無効	16 進数	7E 00 08 01 00 46 00 AB CD

Code11

読み取り設定

有効	16 進数	7E 00 08 01 00 49 01 AB CD
＊ 無効	16 進数	7E 00 08 01 00 49 00 AB CD

GS1 Databar

読み取り設定

＊ 有効	16 進数	7E 00 08 01 00 5F 01 AB CD
無効	16 進数	7E 00 08 01 00 5F 00 AB CD

QR Code & Micro QR

読み取り設定

＊ 有効	16 進数	7E 00 08 01 00 3F 01 AB CD
無効	16 進数	7E 00 08 01 00 3F 00 AB CD

Data Matrix

読み取り設定

＊ 有効	16 進数　7E 00 08 01 00 54 01 AB CD
無効	16 進数　7E 00 08 01 00 54 00 AB CD

PDF417

読み取り設定

有効	16 進数　7E 00 08 01 00 55 01 AB CD
＊ 無効	16 進数　7E 00 08 01 00 55 00 AB CD

最小/最大読み取り桁数を指定する

※NW-7　：スタート/ストップコードを含める。
※Code39：スタート/ストップコードを含めない。

最小読み取り桁数を指定する

16 進数　7E 00 08 02 00 BB n1 n2 AB CD

※設定範囲：0x0000-0xFFFF（0-65535 桁）
例）5 桁に設定する場合：n1＝05　n2=00

最大読み取り桁数を指定する

16 進数　7E 00 08 02 00 BD n1 n2 AB CD

※設定範囲：0x0000-0xFFFF（0-65535 桁）
例）16 桁に設定する場合：n1＝10　n2=00

先頭/末尾から指定桁数を出力する

設定別の出力例

データ 「4912345678904」 先頭データ桁数の設定：3 桁 末尾データ桁数の設定：4 桁	先頭データを出力 ⇒ 491
	中間データを出力 ⇒ 234567
	末尾データを出力 ⇒ 8904

＊ すべてのデータを出力する

16 進数　7E 00 08 01 00 B0 00 AB CD

先頭データの桁数を設定

16 進数　7E 00 08 01 00 B1 n AB CD

n=0x00～FF

末尾データの桁数を設定

16 進数　7E 00 08 01 00 B2 n AB CD

n=0x00～FF

先頭データを出力

16 進数　7E 00 08 01 00 B0 01 AB CD

中間データを出力

16 進数　7E 00 08 01 00 B0 03 AB CD

末尾データを出力

16 進数　7E 00 08 01 00 B0 02 AB CD

ビープ音を鳴らす

コマンドを送信すると、都度ビープ音が鳴ります。

16 進数	7E 00 0A 20 00 00 00 71 E0

・16 進コード

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

A

D

B

E

C

F

保存

・ASCII テーブル

	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	|
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

・Code39 Full ASCII バーコード

※【4.2-3 Code39】で「 Full ASCII Code39 有効 」に設定してください。

NUL %U	SOH $A	STX $B	ETX $C
EOT $D	ENQ $E	ACK $F	BEL $G
BS $H	HT $I	LF $J	VT $K
FF $L	CR $M	SO $N	SI $O
DLE $P	DC1 $Q	DC2 $R	DC3 $S
DC4 $T	NAK $U	SYN $V	ETB $W
CAN $X	EM $Y	SUB $Z	ESC %A
FS %B	GS %C	RS %D	US %E

Space Space	! /A	” /B	# /C
$ /D	% /E	& /F	' /G
(/I1	) /I	* /J	+ /K
, /L	- -	. .	/ /O
0 0	1 1	2 2	3 3
4 4	5 5	6 6	7 7
8 8	9 9	: /Z	; %F
< %G	= %H	> %I	? %J
@ %V	A A	B B	C C

D D	E E	F F	G G
H H	I I	J J	K K
L L	M M	N N	O O
P P	Q Q	R R	S S
T T	U U	V V	W W
X X	Y Y	Z Z	[%K
¥(\) %L	] %M	^ %N	_ %O
` %W	a +A	b +B	c +C
d +D	e +E	f +F	g +G

h +H	i +I	j +J	k +K
l +L	m +M	n +N	o +O
p +P	q +Q	r +R	s +S
t +T	u +U	v +V	w +W
x +X	y +Y	z +Z	{ %P
| %Q	} %R	~ %S	DEL(7Fh) %T

・サンプルバーコード

JAN-13

JAN-8

UPC-A

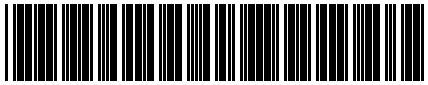
UPC-E（0）

Code128（スタート：A）

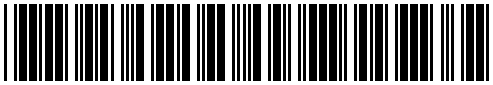
Code128（スタート：B）

Code128（スタート：C）

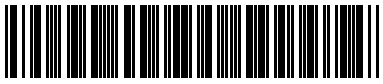
Code39(C/D あり)



Code39(C/D なし)

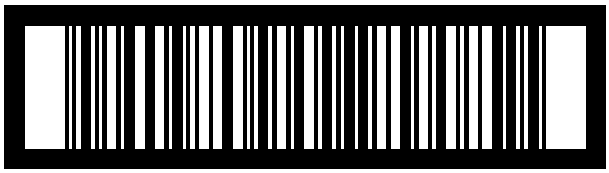


NW-7(C/D あり)

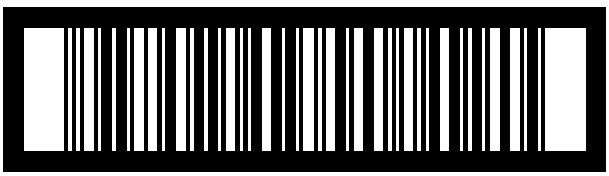


NW-7(C/D なし)

Interleaved 2 of 5 ITF (C/D あり)



Interleaved 2 of 5 ITF (C/D なし)



GS1 Data Bar

GS1 Data Bar Limited

GS1 Data Bar Expanded